

[平成19年度設置]

宇都宮大学大学院国際学研究科博士後期課程
国際学研究専攻設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 宇都宮大学
平成20年4月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 ソウム カ ホウキガカリ イワサキ ヒロシ
総務課法規係 岩崎 浩

電話番号 028-649-5012

（夜間） 028-649-5012

F A X 028-649-5026

e-mail syosoumu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

大学院等設置に係る設置計画履行状況報告書

1 調査対象大学院等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人宇都宮大学

(2) 大学院名

宇都宮大学大学院国際学研究科博士後期課程国際学研究専攻

(3) 大学本部の位置

栃木県宇都宮市峰町350

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
研究科長	未定	キジマ シゲル 北島 滋 (平成17年4月)	平成17年1月26日教授会 選任 平成19年1月24日教授会 再任 ^①

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称 (学位)	認可時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
国際学研究科国際学研究専攻 (博士後期課程)	3 年	3 人	9 人	基礎となる学部名等 国際学研究科 (博士前期課程) 国際社会研究専攻 国際文化研究専攻 国際交流研究専攻 国際学部 国際社会学科 国際文化学科

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度 区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	(-) -	(-) 3	(-) 3	2.16 倍	平成19年度開設
志願者数	(-) -	(5) 9	(4) 14		
受験者数	(-) -	(5) 9	(4) 14		
合格者数	(-) -	(4) 6	(1) 7		
B 入学者数	(-) -	(4) 6	(1) 7		
入学定員超過率 B/A	(-) -	(-) 2.00	(-) 2.33		

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学年	平成18年度	平成19年度	平成20年度	備考
1年次	[-] -	[1] 6	[4] 7	平成19年度開設
2年次	[-] -	[-] -	[1] 6	
3年次	[-] -	[-] -	[-] -	
計	[-] -	[1] 6	[5] 13	

(5) - ④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成18年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成17年度入学者 人	うち平成17年度 人	
	うち平成18年度入学者 人	うち平成18年度 人	
	(主な退学理由) 平成19年度開設		
平成19年度	計 [0] 0	計 [1] 6	[0 %] 0 %
	うち平成17年度入学者 人	うち平成17年度 人	
	うち平成18年度入学者 人	うち平成18年度 人	
	うち平成19年度入学者 0 人	うち平成19年度 6 人	
(主な退学理由)			
平成20年度	計 [0] 1	計 [4] 7	[0 %] 7.6 %
	うち平成17年度入学者 人	平成17年度 人	
	うち平成18年度入学者 人	平成18年度 人	
	うち平成19年度入学者 1 人	平成19年度 6 人	
うち平成20年度入学者 0 人	平成20年度 7 人		
(主な退学理由) 海外留学希望のため			

2 授業科目の概要

<国際学研究科 国際学研究専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考	
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
国際人権保障論	未開講 ↓		2		1						履修希望者がいなかったため⑳
個人情報・情報公開制度論	未開講 ↓		2		1						履修希望者がいなかったため⑳
国際政治学	1		2								
ネットワーク・ガバナンス分析論	未開講 ↓		2		1						履修希望者がいなかったため⑳
地球環境ガバナンス論	未開講 ↓		2		1						履修希望者がいなかったため⑳
国際NGO論	未開講 ↓		2		1						履修希望者がいなかったため⑳ 教育課程の充実を図るため教員を追加㉑ 教育課程の充実を図るため兼任教員を専任教員に変更㉒ 〔担当 重田 康博（教授） 平成19年8月 教員審査済 判定 可〕
湾岸アラブ諸国国民統合論	未開講 ↓		2			1					履修希望者がいなかったため⑳ 平成19年4月准教授昇任㉑ 〔平成19年8月 教員審査済 判定 可〕
国際経済学	1		2								
現代アメリカ金融仲介機関論	未開講 ↓		2		1						履修希望者がいなかったため⑳
対人コミュニケーション研究論	1		2		1						平成19年4月教授昇任㉑ 〔平成19年8月 教員審査済 判定 可〕
情報ネットワーク研究	未開講 ↓		2			1					履修希望者がいなかったため⑳
東アジア国際関係史	未開講 ↓		2		1						履修希望者がいなかったため⑳
現代中国農村社会構造論	未開講 ↓		2		1						履修希望者がいなかったため⑳
日台交流史研究	1		2			1					
北東アジアの国際関係論	未開講 ↓		2		1						履修希望者がいなかったため⑳
東アフリカ社会開発論	未開講 ↓		2			1					履修希望者がいなかったため⑳ 平成19年4月准教授昇任㉑ 〔平成19年8月 教員審査済 判定 可〕
国際下層問題論	1		2		1						
タイ都市社会研究	未開講 ↓		2			1					履修希望者がいなかったため⑳
海域アジア・オセアニア文化人類学	未開講 ↓		2		1						履修希望者がいなかったため⑳
国際開発協力論	1		2		1						
知的財産権論	未開講 ↓		2								履修希望者がいなかったため⑳
芸術文化研究	未開講 ↓		2		1						履修希望者がいなかったため⑳
日本文学比較文化論	未開講 ↓		2			1					履修希望者がいなかったため⑳

日韓比較文学研究	未開講 ↓	2	1	↓	履修希望者がいなかったため② 平成20年4月1日教授昇任② 〔平成20年1月 教員審査済 判定 可〕
日欧比較文学論	未開講 ↓	2	1		履修希望者がいなかったため②
現代表象文化研究	未開講 ↓	2	1		履修希望者がいなかったため②
イギリス文化変容研究	未開講 ↓	2	1		履修希望者がいなかったため②
アメリカ文化形成論	未開講 ↓	2		1	履修希望者がいなかったため②
ドイツ文化思想研究	未開講 ↓	2	1		履修希望者がいなかったため②
ドイツ現代文化研究	未開講 ↓	2	1		履修希望者がいなかったため②
文化コミュニケーション研究	未開講 ↓	2	1	↓	履修希望者がいなかったため② 平成19年10月1日准教授昇任② 〔平成19年8月 教員審査済 判定 可〕
言語普遍性と英語研究論	1	2	1		
多文化教育研究	1	2			
現代日本語論	未開講 ↓	2		1	履修希望者がいなかったため②
日本語教育学研究	未開講 ↓	2	1		履修希望者がいなかったため②
韓国文化地理研究論	未開講 ↓	2	1		履修希望者がいなかったため②
国際学基礎演習	1	2	22	5	
国際学リサーチ演習	未開講 2	2	22	5	2年次生がいなかったため②
国際学臨地研究	未開講 2	2	22	5	2年次生がいなかったため②
特別研究 I	未開講 1	1	22	5	
特別研究 II	未開講 2	2	22	5	2年次生がいなかったため②
特別研究 III	未開講 3	3	22	5	3年次生がいなかったため②

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
12	72	0	84	3	16	0	19	
				[△9]	[△56]	[0]	[△65]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	国際人権保障論	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
2	個人情報・情報公開制度論	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
3	ネットワーク・ガバナンス分析論	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
4	地球環境ガバナンス論	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
5	国際NGO論	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
6	湾岸アラブ諸国民統合論	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
7	現代アメリカ金融仲介機関論	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
8	情報ネットワーク研究	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
9	東アジア国際関係史	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
10	現代中国農村社会構造論	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
11	北東アジアの国際関係論	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
12	東アフリカ社会開発論	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
13	タイ都市社会研究	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
14	海域アジア・オセアニア文化人類学	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
15	知的財産権論	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
16	芸術文化研究	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
17	日本文学比較文化論	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
18	日韓比較文学研究	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
19	日欧比較文学論	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
20	現代表象文化研究	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
21	イギリス文化変容研究	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
22	アメリカ文化形成論	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
23	ドイツ文化思想研究	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
24	ドイツ現代文化研究	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
25	文化コミュニケーション研究	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
26	現代日本語論	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
27	日本語教育学研究	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
28	韓国文化地理研究論	2	1	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
29	国際学リサーチ演習	2	2	必修	2年次生がいなかったため。代替措置なし。
30	国際学臨地研究	2	2	必修	2年次生がいなかったため。代替措置なし。
31	特別研究Ⅱ	2	2	必修	2年次生がいなかったため。代替措置なし。
32	特別研究Ⅲ	3	3	必修	3年次生がいなかったため。代替措置なし。

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1					
2					
3					

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

19年度は、履修希望者がいなかったため又は2～3年次生がなかったために未開講となった授業科目が存在したが、履修希望者・該当年次生が存在すれば開講する予定であり、今年度以降も募集は継続する。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{19}{84} = 0.22$$

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	m ² 381,736	m ² 0	m ² 0	m ² 381,736				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	122,298 m ² (122,298 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	122,298 m ² (122,298 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	81 室	76 室	347 室	9 室 (補助職員 5 人)	0 室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			申請研究科全体		
	国際学研究科		31 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	国際学研究科	24,017 [11,801] (21,626 [11,204])	111 [77] (102 [68])	3,543 [150] (3,393 [3,223])	239 (239)	1,156 (1,156)	0 (0)	
	計	24,017 [11,801] (21,626 [11,204])	111 [77] (102 [68])	3,543 [150] (3,393 [3,223])	239 (239)	1,156 (1,156)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	8,190 m ²		730		616,000			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	3,369 m ²		武道館 (869 m ²)		陸上競技場 1面			
			野球場 2面		多目的グラウンド 2面			
			サッカー・ラグビー場 1面		テニスコート 9面			
プール (25m 用)								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
	教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

4 既設大学等の状況

大学等の名称	宇都宮大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
(大学院)								
国際学研究所 (博士前期課程)					修士 (国際学)		平11	栃木県宇都宮市峰町
国際社会研究専攻	2	10	0	20		0.95		350
国際文化研究専攻	2	10	0	20		1.30		
国際交流研究専攻	2	10	0	20		0.95		
小計	-	30	0	60		1.06		
教育学研究所 (修士課程)					修士 (教育学)		昭59	栃木県宇都宮市峰町
学校教育専攻	2	8	0	16		0.93		350
特別支援教育専攻	2	5	0	10		0.90		
カリキュラム開発専攻	2	7	0	14		0.88		
教科教育専攻	2	50	0	100		0.88		
小計	-	70	0	140		0.82		
工学研究科								
(博士前期課程)					修士 (工学)		昭48	栃木県宇都宮市陽東
機械システム工学専攻	2	0	0	25		1.46		7-1-4
電気電子工学専攻	2	0	0	27		1.14		
応用化学専攻	2	0	0	28		1.17		
建設学専攻	2	0	0	22		1.40		
情報工学専攻	2	0	0	28		1.21		
エネルギー環境科学専攻	2	0	0	32		1.03		
情報制御システム科学専攻	2	0	0	25		1.26		
機械知能工学専攻	2	28	0	28		1.00		
電気電子システム工学専攻	2	28	0	28		1.03		
物質環境化学専攻	2	29	0	29		1.65		
地球環境デザイン専攻	2	25	0	25		0.96		
情報システム科学専攻	2	29	0	29		1.13		
学際先端システム学専攻	2	58	0	58		1.08		
小計	-	197	0	384		1.15		
(博士後期課程)					博士 (工学)		平4	栃木県宇都宮市陽東
生産・情報工学専攻	3	0	0	14		1.42		7-1-4
物性工学専攻	3	0	0	10		0.80		
エネルギー環境科学専攻	3	0	0	26		0.36		
情報制御システム科学専攻	3	0	0	19		0.78		
システム創成工学専攻	3	30	0	30		0.80		
小計	-	30	0	99		0.68		
工学研究科改組により20年度から募集停止								
工学研究科改組により20年度から募集開始								
工学研究科改組により20年度から募集停止								
20年度募集開始								
農学研究科 (修士課程)					修士 (農学)		昭41	栃木県宇都宮市峰町
生物生産科学専攻	2	41	0	82		1.26		350
農業環境工学専攻	2	12	0	24		0.87		
農業経済学専攻	2	8	0	16		0.50		
森林科学専攻	2	10	0	20		1.15		
小計	-	71	0	142		1.09		
合計	-	398	0	825		1.07	-	
東京農工大学大学院 連合農学研究科 (博士課程)	3	19	0	57	博士 (農学)	-	昭60	東京都府中市幸町 3-5-8
(学部)								
国際学部			3年次		学士 (国際学)		平6	栃木県宇都宮市峰町
国際社会学科	4	50	5	210		1.31		350
国際文化学科	4	50	5	210		1.24		
小計	-	100	10	420		1.27		
教育学部					学士 (教育学)		昭24	栃木県宇都宮市峰町
学校教員養成課程	4	150	0	600		1.20		350
生涯教育課程	4	35	0	140		1.20		
環境教育課程	4	25	0	100		1.18		
小計	-	210	0	840		1.17		
工学部			3年次		学士 (工学)		昭39	栃木県宇都宮市陽東
機械システム工学科	4	79		316		1.10		7-1-4
電気電子工学科	4	79		316		1.12		
応用化学科	4	83	30	332	60	1.09		
建設学科	4	70		280		1.22		
情報工学科	4	74		296		1.13		
小計	-	385	30	1,600		1.13		
農学部			3年次		学士 (農学)		昭24	栃木県宇都宮市峰町
生物生産科学科	4	105		420		1.16		350
農業環境工学科	4	35		140		1.14		
農業経済学科	4	40	20	160	40	1.14		
森林科学科	4	35		140		1.13		
小計	-	215	20	900		1.15		
合計	-	910	60	3,760		1.11	-	

5 教員組織の状況

<国際学研究科 国際学研究専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	今井 直	平成19年4月	国際人権保障論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	教授	杉原 弘修	平成19年4月	個人情報・情報公開制度論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	教授	中村 祐司	平成19年4月	ネットワーク・ガバナンス分析論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専	教授	中村 洋一	平成19年4月	地域環境ガバナンス論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専	教授	磯谷 玲	平成19年4月	現代アメリカ金融仲介機関論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専	教授	伊藤 一彦	平成19年4月	東アジア国際関係史 北東アジアの国際関係論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	教授	内山 雅生	平成19年4月	現代中国農村社会構造論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	教授	田巻 松雄	平成19年4月	国際下層問題論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	教授	柄木田 康之	平成19年4月	海城アジア・オセアニア文化人類学 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						

専任	教授	友松 篤信	平成19年4月	国際開発協力論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III						
専任	教授	岡田 三郎	平成19年4月	芸術文化研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III						
専任	教授	市川 裕見子	平成19年4月	日欧比較文学論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III						
専任	教授	石浜 昌宏	平成19年4月	現代表象文化研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III						
専任	教授	高際 澄雄	平成19年4月	イギリス文化変容研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III						
専任	教授	渡邊 直樹	平成19年4月	ドイツ文化思想研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III						
専任	教授	若山 俊介	平成19年4月	ドイツ現代文化研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III						
専任	教授	佐々木 一隆	平成19年4月	言語普遍性と英語研究 論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III						
専任	教授	梅木 由美子	平成19年4月	日本語教育学研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III						
専任	教授	佐々木 史郎	平成19年4月	韓国文化地理研究論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III						
専任	准教授	中村 真	平成19年4月	対人コミュニケーション研究論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III						
専任	准教授	倪 永茂	平成19年4月	情報ネットワーク研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III						

専任	准教授	松金 公正	平成19年4月	日台交流史研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	准教授	マリー ケオマ ノータム	平成19年4月	タイ都市社会研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	准教授	松井 貴子	平成19年4月	日本文学比較文化論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	准教授	丁 貴連	平成19年4月	日韓比較文学研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任 教授	丁 貴連	平成20年4月	日韓比較文学研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	平成20年4月 教授昇任⑳	
専任	准教授	米山 正文	平成19年4月	アメリカ文化形成論						
専任	准教授	吉田 一彦	平成19年4月	現代日本語論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	講師	松尾 昌樹	平成19年4月	湾岸アラブ諸国国民統 合論						
専任	講師	阪本 公美子	平成19年4月	東アフリカ社会開発論						
専任	講師	ライマン アンド リュウ	平成19年4月	文化コミュニケーション 研究	専任 准教授	ライマン アンド リュウ	平成19年10月	文化コミュニケーション 研究	平成19年10月 准教授昇任㉑	
兼任	教授	山村 正明	平成19年4月	知的財産論						
兼任	准教授	威 傑	平成19年4月	多文化教育研究						
兼任	講師	重田 康博	平成19年4月	国際NGO論	専任 教授	重田 康博	平成19年10月	国際NGO論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	平成19年10月から専任教授 に変更(教員審査平成19年 8月, 判定可)㉒	

兼任	講師	高原 孝生	平成19年4月	国際政治学						
兼任	講師	増田 正人	平成19年4月	国際経済学						

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
16	13	29	0	16	14	30	0	専任教員1名増による
(16)	(13)	(29)	(0)	[]	[1]	[]	[]	

(3) 専任教員交代の理由 (該当なし)

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任 (就任辞退を含む) 等の理由
1			
2			
3			

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 (該当なし)

--

6 留意事項に対する履行状況等（該当なし）

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時			
設置計画履行状況 調 査 時			
設置計画履行状況 調 査 時			

7 その他全般的事項

<国際学研究科 国際学研究専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 教員の昇任 ② 兼任教員1名を専任教員へ変更	① 丁貴連准教授を教授に, ライマン・アンドリュース准教授を准教授に昇任させた。 ② 教育課程の充実を図るため, 兼任教員1名を専任教員に変更した。

(2) 教員の資質の維持向上の方策

<p>①実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>※関係規程等を転載又は添付すること</p> <p>F D研究会（関係規程は存在しない）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>毎月1回開催（国際学部教員を含め, 各回平均30名位の教員が参加）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>カリキュラム改革, 科研費, 広報のあり方等を審議</p> <p>②実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・授業方法・カリキュラムについての研究会・授業方法アンケート・新任教員のための研修会 <p>b 実施方法</p> <p>F D研究会での実施, 学生へのアンケートによる方法等</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>主にF D研究会の活動として実施 アンケートは年1回実施</p> <p>d 実施結果を含めた授業改善への取組状況</p> <p>今後の授業改善についての参考資料とする</p>

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表予定時期

- ・平成22年度中に公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、関係機関に配布予定
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成22年度）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成20年度に評価機関（大学評価・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で準備中

(4) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (19 年 5 月 7 日)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク

(承諾する ・ 承諾しない)

d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス

(<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/jyouhoukoukai/settikeikaku.html>)

② 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (19 年 5 月 7 日)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク

(承諾する ・ 承諾しない)

d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス

(<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/jyouhoukoukai/settikeikaku.html>)

別 紙

平成19年4月の開設後、国際学基礎演習の授業方法等、緊急に解決・改善すべき課題が生じたため、博士後期課程運営部会において点検・評価しつつ解決・改善に努めた。